

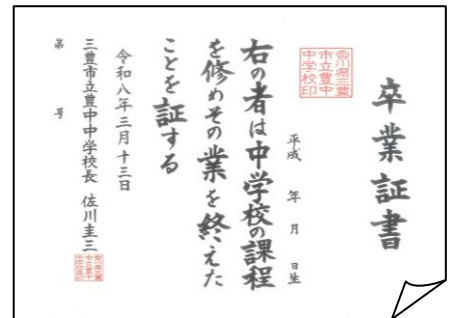


“一期一会”の卒業式～意味と責任～

今月13日に行われる卒業式は、正確に言うと「三豊市立豊中中学校第78回卒業証書授与式」です。つまり、「卒業証書」を「授与」する(される)「式」です。ちなみに、卒業証書には右のような言葉が書かれています。

そして今回は「第78回」。78年の歴史の中で、いったい何人の卒業生が母校を巣立っていったのでしょうか。答えは、13,672人です。(卒業証書には1枚1枚に、何人目かが書かれていて、今年度卒業生の1組1番の人は「第13,673号」となっています。)

先日、この卒業証書の名前入れをお願いしていた書家の小山梨風(恵都子)さんから、卒業生一人一人の「名前」が入った85枚の卒業証書が届きました。その際に次のようなお話をうかがい、1枚1枚に心を込めて書いてくださったのを強く感じました。



「この人はどんな生徒かな」「この名前には、誰のどんな願いが込められているのかな」と想像しながら、一人一人心を込めて書かせていただきました。

「自分の名前を大切にしてほしいな」と思います。

(小山さんの談話より)

卒業証書授与式の一番のメインは、やはり式の最初に行われる「卒業証書授与」です。ステージに上がるのは代表者のみですが、学級担任の先生は全員の「名前」を呼び、卒業生は一人一人返事をして起立します。3年間の成長や感謝の気持ちを一瞬に込めて、「名前」に恥じない立派な返事と態度でこたえてほしいものです。

そして、もう一つのメインは、在校生総代の「送辞」と卒業生総代の「答辞」です。在校生179人から「送る(バトンを受け継ぐ)側」の覚悟や感謝の気持ちを伝え、卒業生85人から「送られる(巣立ちゆく)側」の覚悟や感謝の気持ちを返す時間です。総代の二人とともに、卒業生・在校生それぞれの思いを会場全体で共感し合ってほしいと思います。

もちろん、私も卒業生に対して失礼のないように、正装(儀式で着る正式の服装)で参加します。教育委員会、議会議員さん、地域の方々も多数、正装で参加される予定です。一生に一度きりで、やり直しのできない「第78回卒業証書授与式」が、厳粛な中にも感動あふれる式典になることを願っています。

卒業生・在校生の成長と責任ある態度に期待しています。

* * * * *

右写真は、書家・小山さんからいただいた作品(はがきサイズ)です。

「一期一会」という文字に今年の干支の馬があしらわれています。

校長室前の窓際に展示していますので、ぜひ実物をご覧ください。

*一期一会…一生に一度しかない出会いや、一生に一度限りであること。

